

# 創業77年 卸売業からメーカーへ 自動車のコーティングは何故売れた？ 海外における自動車部品市場について

中央自動車工業株式会社 代表取締役社長 坂田信一郎 氏

火曜午餐会第1例会を11月7日当部5階大会議室にて開催。講師に中央自動車工業株式会社代表取締役社長の坂田信一郎氏をお迎えした。同社は自動車用のコーティング剤部品を主力に、酒気帯び運転防止のためのアルコール検知器の製造、販売等、国内はもとより世界各地で事業を展開している。坂田社長は昭和38年大阪生まれ。その後奈良に移住。野球とラグビーの学生時代を過ごされ、中央自動車工業入社後は、大阪支社長、名古屋支社長を経て平成24年より同社代表取締役社長に就任。多方面でご活躍されている。

## 【中央自動車工業の歴史】

当社は昭和21年に大阪の福島区で創業しました。創業者は石川県金沢市出身の上野富造氏で、自動車部品の卸売り業が祖業です。時代の流れと共に、業態変革を行い、部品製造卸、クーラー製造からカー用品卸売りを経て、現在国内部門は自動車用ケミカル剤やアルコール検知器のメーカーに轉身しました。海外部門は祖業である自動車部品卸を行っており、世界約60ヶ国に自動車部品を輸出しています。

## 【コーティング、アルコール検知器について】

本日のタイトルである自動車用

コーティング剤が何故売れたかという事ですが、今から30年程前、日本で初めて新車時の施工で5年間の品質保証を付けて販売しました。5年という長期の保障をするには、結構覚悟が要りましたが、結果的に苦情やクレームは少な

く、また稀にあっても当社の営業がアフターサービスで対応できておりました。当社の強みは自社で開発する開発力と、営業が全て技術職であるという事です。営業はクルマを磨いたりコーティングを施工したりする作業技術を全員が



取得しており、お客様が困った時でもその場で対応できる事が強みです。開発力では大阪の中之島に研究開発施設、中之島R&Dセンターを建設し、研究者が日々商品の開発、改良に努めています。

また、アルコール検知器は今から20年以上前、お酒を飲んだ翌朝の呼気にアルコールが残っていないかを調べる機械を作ろうという事になりトライしました。おかげ様で現在は法人様を対象に販売が伸長しておりまして、2023年12月からは一定量の営業車両を有する事業主は、アルコール検知器を使用して、乗車前後の呼気検査をしなければならぬという法律が施行される事になり、まだまだ市場の拡大が見込まれます。もしまだご準備なされていない会員の皆様がおられましたら、是非当社にお申し付けください(笑)。

## 【海外における自動車部品市場について】

当社は世界約60ヶ国に自動車部品を輸出しています。当社多くの輸出先は後進国になります。後進国の中の新車を買えない層が中心ですから、一握りの富裕層を除き、後進国内では大多数がターゲットになります。海外では日本

で10万キロ以上走行した中古車を購入して、修理しながら100万キロ以上走行される人が沢山おられます。従って私達が販売する部品は日本では殆ど売れないエンジン部品やタイヤを支えるサスペンション関連が中心です。サスペンション関連部品が良く売れるのは、先ず舗装されている道路が少ない、過積載が多い、スピード抑制のバンプを設けている地域が多く、それによってサスペンションが痛む、寒冷地は凍結防止剤を撒くので錆びやすい、などの理由です。

## 【世界中のお客様】

この仕事をしている事で、世界中の様々な人種の人達と知り合う事ができました。中には初対面の時に私の人間性を試す方もおられました。そのような方ほど、後に深いお付き合いが出来ています。国内のお客様は勿論ですが、世界中の方々と人脈ができる事に大変感謝しています。

## 【飲水思源】

今の私達がありますのも、この会社を創ってくれた創業者のおかげであり、その御恩は決して忘れ

てはならない事を社内にしっかりと伝達しています。金沢にある創業者の上野富造氏のお墓には、毎年年末に一年の計を報告に御参りしています。そして二代目社長の福辻道夫氏には、社会の厳しさ、規律、諦めない心を教えて頂きました。三和銀行出身で非常に厳しい方でしたが、今の私があるのも福辻氏のおかげと心から感謝しています。

## 【インテグリティと感謝】

当社が掲げた2023年～25年までの中期計画のテーマは、インテグリティと感謝を会社の文化にするという事です。インテグリティとは誰も見ていなくても正しい事をするという意味で、ルールを守れという事はなく、自らが常に正しい道歩むという事です。海外のお客様との折衝では、厳しい交渉もありますが、迷った時は利を追わず、正しい道を選択するように指示しています。また当社を取り巻く全ての方々への感謝を忘れず、当社の社員は常に感謝の心を持った人に成長して欲しいと思っています。そして、お客様は勿論ですが、社員を大切に社会のお役に立てる会社になれるよう、これからも努力して参ります！